

2021年4月16日

各位

会社名 株式会社 ソケッツ
代表者名 代表取締役社長 浦部 浩司
(コード: 3634、東証第二部)
問合せ先 コーポレートマネジメント室 吉野 裕規
(TEL. 03-5785-5518)

通期業績予想の修正及び繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ

当社は、2021年3月期決算において、最近の業績の動向等を踏まえ、以下のとおり、昨年2020年5月11日の2020年3月期決算発表時に開示した2021年3月期(2020年4月1日~2021年3月31日)の業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の業績予想数値の修正(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2020年5月11日発表)	百万円 1,250	百万円 10	百万円 10	百万円 6	円銭 2.45
今回修正予想(B)	994	△15	△15	△51	△20.97
増減額(B-A)	△255	△25	△25	△57	—
増減率(%)	△20.4	—	—	—	—
(参考)前期実績 (2020年3月期)	1,227	21	21	17	7.01

2. 修正の理由

売上高は、主力事業である感性メタデータ活用を中心としたデータサービス・ライセンス事業に関しましては、ライセンス売上およびライセンス提供数ともに、前年度より増加傾向にありましたが、新規ライセンス獲得の期初計画未達および開発運用売上の減少により期初予想を下回る見込みとなりました。

既存のインターネット上における音楽・映像分野を中心としたエンターテインメント・サービス向けのデータサービスが堅調な一方で、当社独自の感性メタデータ活用先の新しい分野であるファッション、美容、住まい、旅行、食などの新規提供先開拓に当初想定よりも時間が掛かっている状況であり、期初計画であるライセンス型収益月額1億円は未達成となりました。また、期末において予定されていた案件が翌期にずれ込んだことも計画未達成の要因となりました。一方で、ライセンス事業の収益力向上と開発運用の生産性の改善により粗利率は増加し、また、販売費及び一般管理費の効率的な執行により、損益分岐点は低下したものの、売上高の計画未達成に伴い、営業利益および経常利益は期初予想を下回る見込みとなりました。

3. 繰延税金資産の取り崩しについて

現時点で将来課税所得を保守的に見積り、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、33百万円を取り崩すこととしたため、法人税等調整額が同額増加する見込みとなりました。

※注意事項

上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しています。実際の業績は、今後様々な要因により当該予想値と異なる可能性があります。

以 上